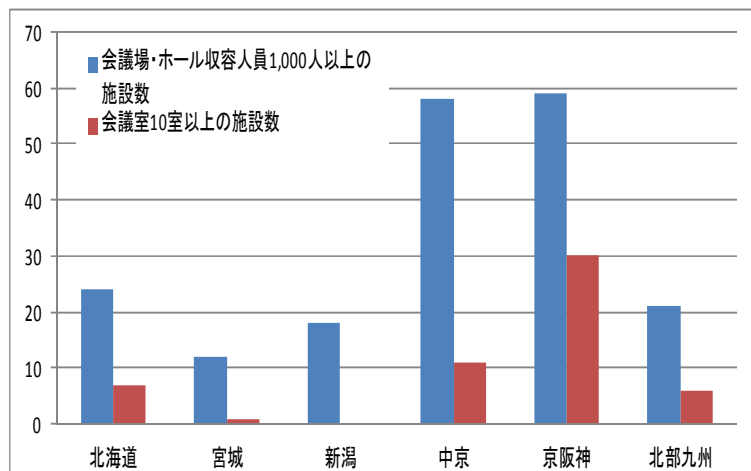


3-3. 関西が果たすべき役割とは？ ～膨大なバックアップ要員の受け皿となる関西～

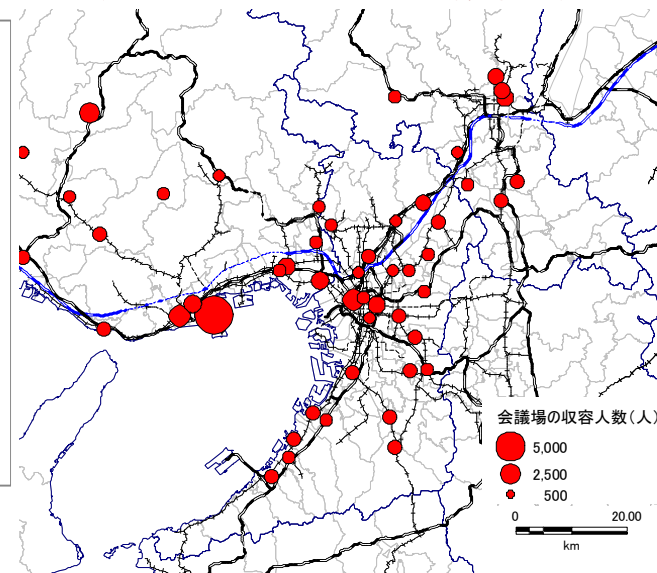
- 関西は、他圏域と比較して、収容人数千人以上の大規模な会議場を有する施設、会議室を10室以上有する施設が多く、災害対策本部等を受け入れる基盤が充実している。
- 東日本大震災が発災した直後には、企業や大使館が国外も含め他地域にシフトする動きが見られたが、宿泊・居住機能のストックが厚い関西では、その受け皿として機能するポテンシャルが高い。

圏域別の会議施設の整備量

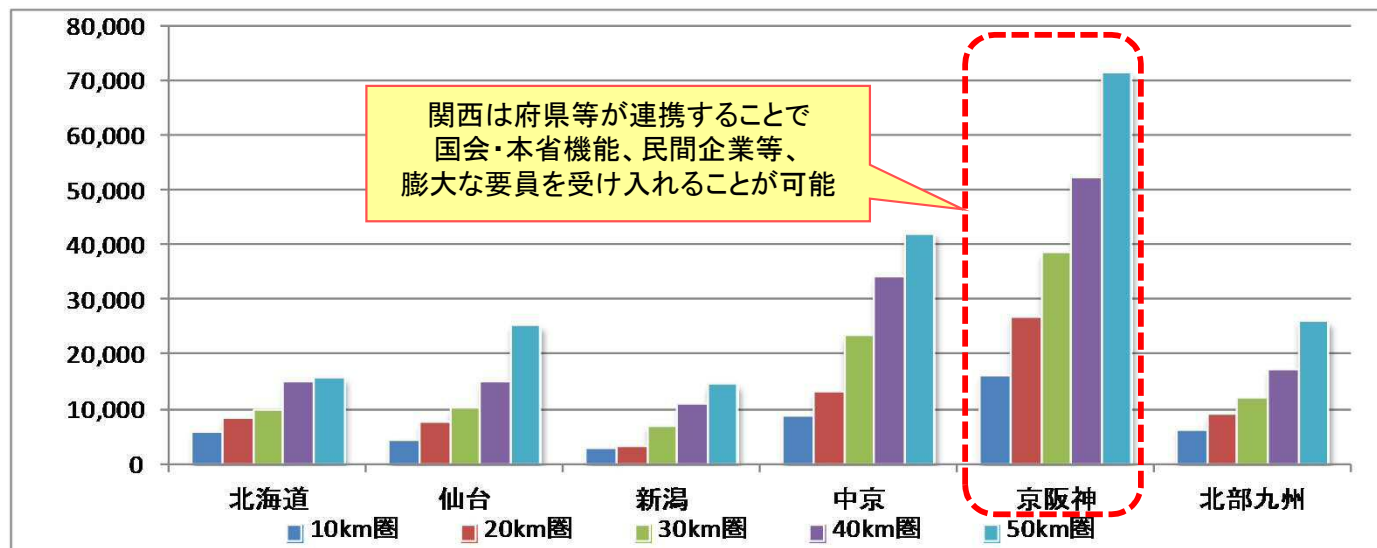


(資料) 社団法人全国公立文化施設協会「平成24年度版 全国公立文化施設名簿」より作成
(注釈) 中京: 岐阜県、愛知県、三重県 京阪神: 京都府、大阪府、兵庫県 北部九州: 福岡県

収容人数千人以上の会議場分布



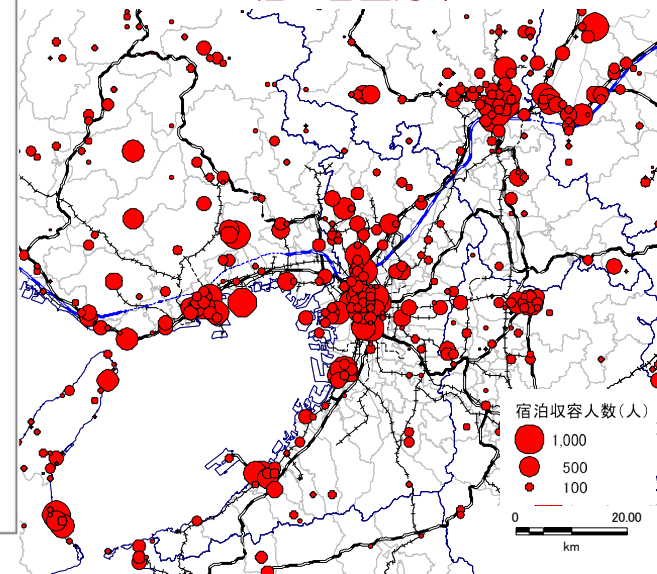
都市中心部から等距離圏内の宿泊容量 (人)



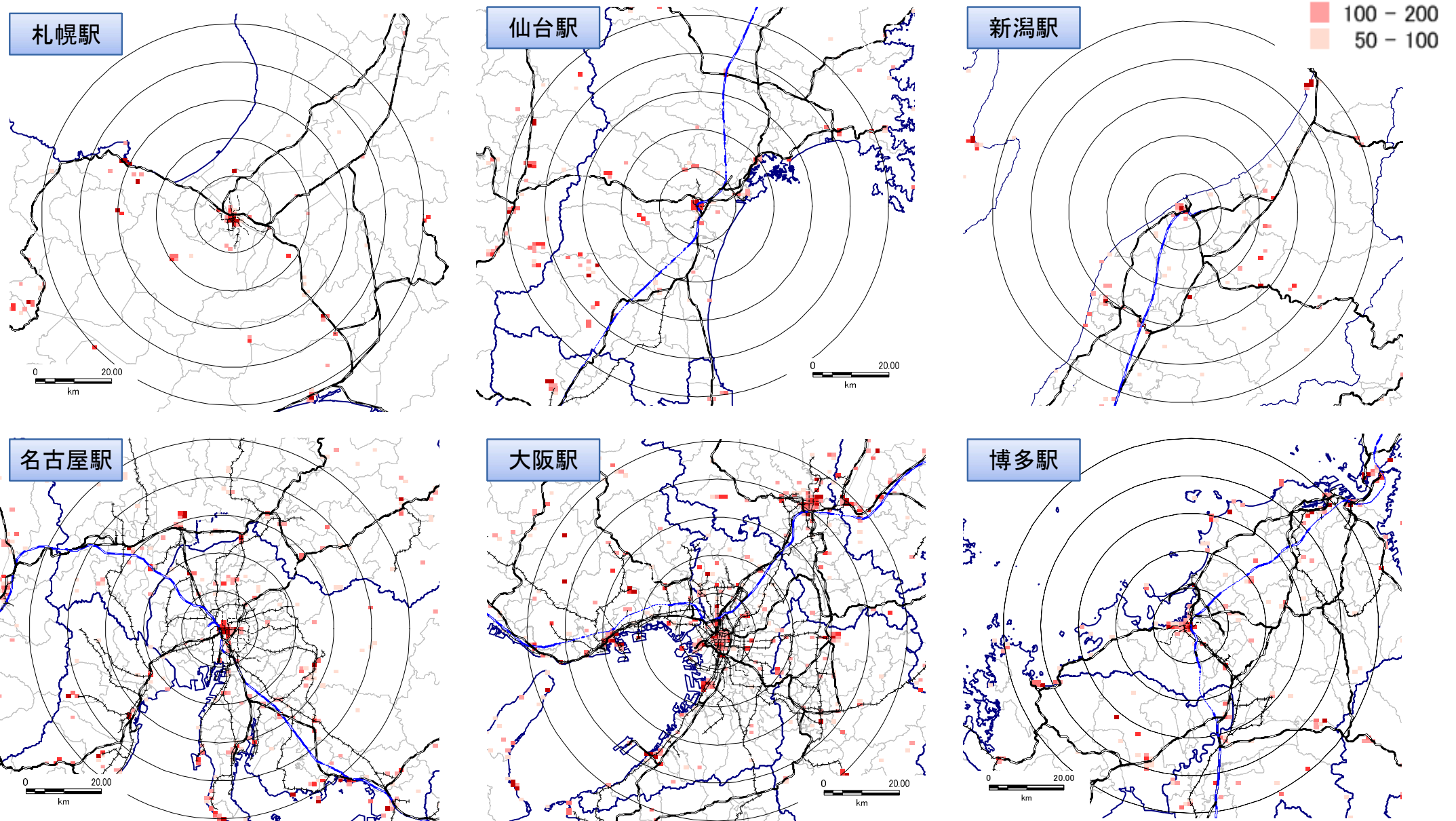
関西は府県等が連携することで
国会・本省機能、民間企業等、
膨大な要員を受け入れることが可能

(資料) 国土交通省「国土数値情報 宿泊容量メッシュデータ」より作成

宿泊容量分布



(参考) 宿泊施設容量分布



(資料)国土交通省「国土数値情報 宿泊容量メッシュデータ」より作成 各円は中心駅から内側より10,20,30,40,50km圏域を表示